

1. 調査の概要

1) 調査の目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人々のスポーツ活動の機会が奪われている。また、感染封じ込めのための人と人との接触を減らす取り組みを通じて、多くの国民の身体活動量・運動量が大きく減少することが危惧されている。こうした環境下で、国民の身体活動・運動の実施状況やスポーツ観戦等のニーズがどのように変化しているのかを調査する。

2) 調査対象

全国の市区町村に在住する 18～79 歳までの男女 5,000 人(5,000 サンプルが地区ごとの性別・年代別人口構成比率に近似するよう割当)

3) 調査方法

- 1) 調査手法: インターネット調査
- 2) 調査委託機関: 株式会社クロス・マーケティング

4) 調査時期

2020 年 6 月 3 日～6 月 5 日

5) 主な調査項目

基本属性_居住地、性別、年齢、職業、世帯年収、配偶者・子どもの有無等

- 1) 運動・スポーツ実施状況・実施頻度
- 2) 新型コロナウイルスの影響を受けている運動・スポーツの実施状況
- 3) 新型コロナウイルスの影響による生活の変化
- 4) 新型コロナウイルスの影響によるスポーツ環境の変化
- 5) 新型コロナウイルスの影響下で、取り組んでいる運動に関する情報の入手の有無と入手先
- 6) スポーツ観戦状況(直接スポーツ観戦、テレビやインターネットによるスポーツ観戦)
- 7) 新型コロナウイルスによるスポーツ観戦への影響
- 8) 座位時間、日常の活動
- 9) 新型コロナウイルスによる心身の状態への影響
- 10) 今後運動・スポーツを実施する際に気を付けたいこと
- 11) スポーツ観戦再開に向けて、イベント主催者に期待する対策
- 12) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会への期待

6) 調査の実務担当者

笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策オフィサー 鈴木 貴大
// 清水 恵美